

教科	図画工作	学年	第2学年
----	------	----	------

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具	
好きなことなかに	絵	2	遊んだこと、友達や家族としたこと、好きなことをしている自分を描く。	知	好きなことの形や色を工夫して描く。	知 絵に表すことを通して、形や色などに気づいている。	自分が好きなことを絵に表す学習活動に強い関心をもち、たのしく取り組もうとしている。	クレヨン、パス、画用紙、色画用紙など
				思	描きたい場面を考える。	技 表したいことをもとに、形や色、表し方を工夫して表している。		
				☆ 学	好きなことを思い浮かべながら描くことなかにしむ。	発 経験をもとに表したいことを見つけ、形や色を考えたりしながら、どのように表すか考えている。		
こんにはむぎゅたん	立	2	「むぎゅたん」という想像の生き物を粘土で立体に表す。	知	ひねったりつまんだりして形を工夫する。	知 手で粘土の塊へ働きかけることを通して、粘土の形などに気づいている。	粘土の塊からひねったり、つまんだり、伸ばしたり、穴を開けたりする操作を通して、思いついた形を変えながら表したい想像の生き物を見つけて、どのように表すか考えている。	土粘土、粘土、土、粘土、粘土、タオルなど
				思	粘土の形を変えながら、想像した生き物を考える。	技 粘土の塊をひねる、つまむ、穴を開けるなど、手や体全体の感覚を働かせながら、表し方を工夫して表している。		
				学	粘土の触り心地を感じながらつくることがたのしくなかにしむ。	発 粘土の塊をひねったりつまんだりしてできた形をもとに、表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。		
クレヨン、パスでらんらんランド	絵	4	クレヨンやパスでぼかしたりひっかいたりして、感じたことや思いついたことを絵に表す。	☆ 知	クレヨンやパスの表し方を工夫する。	知 ぼかしたりひっかいたりするなどのいろいろな表し方からクレヨンやパスで表す形や色に気づいている。	クレヨンやパスのいろいろな表し方を積極的に試すことを通して、そこから生まれる形や色の美しさ、面白さに気づくとともに、表したいことに応じて表し方を選んだり、それらを組み合わせたりするなど、工夫して表している。	クレヨン、パス、画用紙など
				思	こすってぼかしたりひっかいたりして描きたいもの考える。	技 クレヨンやパスをぼかしたりひっかいたりした形や色などをもとに表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。		
				学	ぼかしたりひっかいたりして描く絵をたのしくなかにしむ。	発 クレヨンやパスをぼかしたりひっかいたりした形や色のよさや美しさ、表し方から自分の見方や感じ方を広げている。		
さらさらどろどろ	遊	2	土の触り心地を味わいながら活動する。	知	砂や土を握ったり丸めたり並べたりする。	知 自分の感覚や行為を通して、砂や土の形や色などに気づいている。	砂や土の触り心地を存分に味わい、並べる、つなげる、積む、掘る、水を流すなど、体全体の感覚を働かせ、友達と協力しながら学習活動にたのしく取り組もうとしている。	砂や土、水、バケツ、タオルなど
				思	砂や土でどんなことができるか考える。	技 砂や土に十分に慣れ、並べたり、つないだり、積んだりするなど手や体全体の感覚などを働かせ、活動を工夫してつくっている。		
				☆ 学	砂や土の触り心地をたのしくなかにしむ。	発 砂や土の形や色などをもとに、造形的な活動を思いつき、感覚や気持ちを生かしながら、どのように活動するか考えている。		
おはながみかさねてすかして	工	4	お花紙をちぎって重ねて貼り、光を通すと美しい飾りをつくる。	知	お花紙の並べ方や重ね方を工夫する。	知 お花紙の並べ方や重ね方を工夫して、触った感じや、重なお花紙の形や色などに気づいている。	お花紙の形や色、触り心地をもとに、いろいろな並べ方や重ね方を積極的に試しながら表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。	お花紙、洗剤のり、ビニル袋、ビニルシート、タオル、ペットボトルなど
				思	並べたり重ねたりしたお花紙から、好きな感じを考える。	技 お花紙の並べ方や重ね方をいろいろ試すなど、表したいことをもとに表し方を工夫して表している。		
				学	お花紙の手触りや変化をたのしくなかにしむ。	発 お花紙を並べたり重ねたりしたときの形や色、触った感じなどをもとに表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。		
つんでならべてびっくりしタワー	立	2	粘土を積んだり並べたりしながら、つくりたいものをつくる。	知	粘土の積み方や並べ方を工夫する。	知 見たことがない形の「びっくりしタワー」をつくることを通して、粘土の形などに気づいている。	粘土の重さや感触を味わいながら、粘土を積んだり並べたりして形を変えて、見たことがない形をつくる学習活動にたのしく取り組もうとしている。	土粘土、粘土、土、粘土、粘土、タオルなど
				思	積んだり並べたりした形から、つくりたいものをつくる。	技 粘土に十分に慣れるとともに、手や体全体の感覚などを働かせ、表したいことをもとに粘土の積み方や並べ方を工夫して表している。		
				☆ 学	粘土を積んだり並べたりして、つくることをたのしくなかにしむ。	発 粘土を積んだり並べたりしながら、感じたことや想像したことから自分がつくりたい形を考えている。		
ならべて見つけていろいろ色水	遊	2	色水をつくりながら思いついた活動をする。	知	色水をつくりながら、どんなことができるか考える。	知 色水をつくり並べたりすることを通して、混ぜたときや並べたときの形や色に気づいている。	つくった色水の色や容器の形をもとに造形的な活動を思いつき、自分なりにどのように活動するか考えている。	共同絵の具、インク、水、透明容器、ビニル袋など
				思	色水をつくりながら、どんなことができるか考える。	技 いろいろな色色水をつくり、好きな容器に入れて並べたりするなど、活動を工夫してつくっている。		
				学	色水をつくり並べたりすることをたのしくなかにしむ。	発 つくった色水の色や容器の形をもとに造形的な活動を思いつき、どのように活動するか考えている。		
紙コップや紙コップの形や飾りのつくり方を工夫する。	知	知	紙コップや紙コップの形や飾りのつくり方を工夫する。	知	紙コップや紙コップの形や飾りのつくり方を工夫する。	知 紙コップや紙コップの形や飾りのつくり方を工夫する。	仲良しの二人組を意欲的につくり、友達と交流したりする学習活動にたのしく取り組もうとしている。	紙コップ、紙コップ、色紙、色画用紙、接着剤、のり、カラーペン、
				技	紙コップや紙コップの形や飾りのつくり方を工夫する。	技 紙コップや紙コップの形や飾りのつくり方を工夫する。		

ふたりはな かよし	立	2	紙つづを組 み合わせ て、二人組 をつくる。	思	どんな二人組 にするか考 える。	発	紙コップや紙つづの形や色などをもとに、自分のつくりたい二人組を思いつ き、どのように表すか考えている。	はさみなど	
				☆	学	仲良しの二人 組をつくっ てたのしむ。	主		自分や友達 の二人組の形や色などについて、感じ取ったり味わたりして、 自分の見方や感じ方を広げている。
どうぶつさ んといっ しょに	絵	4	見たり遊ん だりした動 物を思い出 して絵に表 す。	☆	知	描きたい場面 になるよう に、形や色 を工夫する。	知	動物との関わりを思い出して、動物やそのまわりの形や色に気づいている。	クレヨン、パ ス、画用紙、 色画用紙など ように描き方を工夫して表している。
				思	描きたい場面 やそのとき の気持ち考 える。	発	動物を見たり触れ合ったりしたときに感じたことから表したいことを見つ け、どのように表すか考えている。		
				学	動物といっ しょにいる場 面を描くこ とをたのし む。	主	自分や友達 の表したいことや表し方に着目して、よさや面白さを感じ取っ たり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。		
ジャンプ！ キャッチ！ 紙けん玉	工	4	仕組みを生 かした紙け ん玉をつ くって遊 ぶ。	☆	知	紙けん玉の形 や色、つり 方を工夫す る。	知	紙けん玉をつくり、遊ぶことを通して、けん玉の形や色に気づいている。	厚紙、割り 箸、ひも、ビ ニルテープ、 しい遊び方を 考えたりする など、表した ことをもとに 表し方を自分 なりに工夫し て表してい る。
				思	仕組みからつ くりたい紙 けん玉を考 える。	発	好きな材料を選んでけん玉を飾ったり、面白い構造を考えたりするなど、表 したいことをもとに表し方を工夫して表している。		
				学	紙けん玉をつ ったり、遊 んだりするこ とをたのし む。	主	仕組みをもとにつくりたいけん玉を思いつき、どのように表すか考えてい る。 友達と作品で遊び合い、よさや表し方などについて感じ取ったり考えたりし て、自分の見方や感じ方を広げている。		
えのくじま	絵	2	筆をのびの びと動かし て描きたい 「えのくじ ま」を描 く。	知	筆使いや色 の組み合わせ を工夫する。	知	筆をのびのびと動かし描くことを通して「えのくじま」の形や色などに気 づいている。	共同絵の具、 筆、画用紙、 新聞紙など	
				思	描きたいえ のくじまを考 える。	発	「えのくじま」などの言葉や絵の感触から表したいことを見つけ、ど のように表すか考えている。		
				☆	学	絵の具と筆で のびのびと描 くことをた のしむ。	主		絵の具を筆で塗る心地よさを味わいながら、絵に表す学習活動にたのしく取 り組もうとしている。
どんでんか わるよ新聞 紙	遊	2	体全体を使 って、新聞 紙で活動 する。	知	新聞紙のねじ り方、裂き方 などを工夫す る。	知	新聞紙に動きかけることを通して、変化する形などに気づいている。	積極的に新聞紙に動きかけ、変化した感じな どももとにさまざまな造形的な活動を思いつ き、どのように活動するか考えている。	
				☆	思	新聞紙をね じったり裂い たりしなが ら、どんなこ とができるか を考えよう。	発		新聞紙に動きかけることを通して、変化した感じなどをと活動に思いつ き、どのように活動するか考えている。
				学	新聞紙の手触 りなどを感じ ながら、変化 させることを たのしむ。	主	さまざまな変化した新聞紙の感じや表現などの面白さやたのしさを味わい、 自分の見方や考え方を広げている。		
ぎゅっとし たい！わた しの「お友 だち」	工	4	紙をもんで 柔らかくし た紙から、 つくりたい 「お友だ ち」をつ くる。	☆	知	袋の形や色、 材料の使い 方を工夫す る。	知	紙をもんで柔らかくした紙の形や色、感触な どに気づいている。	クラフト紙、 色紙、新聞 紙、接着剤、 はさみなど
				思	柔らかくした 紙から、つ くりたい「 お友だち」 を考 える。	発	柔らかくなった紙の袋の形や色から自分の表したい「お友だち」を思いつ き、形や色などのように表すか考えている。		
				学	「お友だち」 をつくるこ とをたのし む。	主	自分「お友だち」をつくる学習活動にたのしく取り組もうとしている。		
えのくひつ ぱレイン ボー	絵	4	厚紙や段 ボールの切 れ端などで 絵の具をの びし、でき た模様から 絵に表す。	知	絵の具ののび し方を工夫 する。	知	自分の感覚やへらを引く行為を通して、形や色などに気づいている。	絵の具、クレ ヨン、パス、 画用紙、段 ボールなどの 厚紙、新聞紙 など	
				思	のびした絵の 具の形や色 から表した ことを考 える。	発	絵の具の色を選んだり、厚紙を動かす勢いや向きなどをいろいろ試したりす るなど、表し方を工夫して表している。		
				☆	学	絵の具をのび して描くこ とをたのし む。	主		自分や友達 の作品の面白さやたのしさを、表したいことなどについて、感じ 取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。
コップくる くるチェン ジ	工	4	紙コップに 透明なコッ プを重ねて 回転させる ことで絵が 変化する仕 組みから、 表したいも のをつ くる。	☆	知	絵の動き方 や、つくり 方を工夫す る。	知	紙コップと透明なコップを動かす仕組みから、変化する絵や形、色などに気 づいている。	紙コップ、透 明なコップ、 上質紙、カ ラペーン、の り、はさみ、 洗濯ばさみ など
				思	重ねて回す と絵が変 化する仕 組みから、 表したいこ とを考 える。	発	仕組みを試しながら、カラペーンの扱いに慣れ、表したいことをもとに表し 方を工夫して表している。		
				学	つくって動か す活動をた のしむ。	主	仕組みに関心をもち、表し方を考えながら、つくって動かす学習活動にた のしく取り組もうとしている。		
たからもの ものがた り	鑑	2	宝物が大 切な理由を 考えて、友 達に伝える。	知	宝物の形や色 などに気づ く。	知	身近にあるものを集めることを通して、その形や色などに気づいている。	宝物、色鉛 筆、画用紙 など	
				☆	思	大切な宝物に している理 由を考 える。	発		身近なものにある思い出から自分のイメージをもっている。
				鑑	身近にあるもの の造形的な面白 さやたのしさを 感じ取り、自 分の見方や感 じ方を広げ ている。	主	身近にあるものの造形的な面白さやたのしさを感じ取り、自分の見方や感 じ方を広げている。		

